

キッズだより



令和7年3月 第36号
たかといちどりキッズ



子は親の鏡

著書ドロシー・ロー・ノルト

「励ましてあげれば、子どもは、自信をもつようになる」

子どもは、「やってみたい。」と様々なことに挑戦しようとしています。たとえ無謀な挑戦でも、チャレンジすることは、子どもたちにとって成長の糧になります。もし思い通りにいかなくても、その過程が大切なのです。私たち大人は、そんな子どもの姿を認め、なぜうまくいかなかったのか、一緒に考え適切なアドバイスをします。そしてまたチャレンジしようと思えるように励ましていくのです。自信がある子どもに育てることは、決して難しいことではありません。子どもを信じ、可能性を信じるのが何より大切です。子どもへの信頼を伝えてください。親に支えられて、自分を信じ伸びていくのです。

1年を通して『子どもが育つ魔法の言葉』という本から『子は親の鏡』の一節を伝えてきました。共感できる言葉や納得できる言葉がたくさんあったと思います。わかってはいるけれど現実には難しい、毎日忙くてそんな余裕がない、子育てってそんな簡単なことばかりではない、と様々な感想や意見があることもわかります。心の片隅に、「あっ、こんな言葉があったな。」と留めておいてください。あの言葉の意味はこういうことだったのだな、親の思いは子どもにとって大きな自信となっているのだなと実感する時が、いつの日かやってくると思います。

0歳～2歳の大切なこの時期に、日々関われること、一緒に過ごせることを、職員一同嬉しく思っています。出会いがあるから別れがある。言い換えれば、別れがあるから出会いがある。一つ一つの出会いを大切にしていきたいと思えます。3月は、にじ組の子どもたちとの別れがあります。7名の子どもは、連携園のたかとりちどり保育園に進級します。1名の子どもは、子ども園に進級します。あさひ・ひかり組は、ひかり・にじ組に進級します。4月には、新しい友だちに出会います。

今年度も残すところあと少しとなりました。楽しい思い出がつかれるように、みんなで公園へ遊びに行ったり、お店屋さんごっこをしたり、お別れ会や食育（米粉うどん）など、様々な遊びを計画しています。

日々子どもの成長を保護者の皆さんと共有できたこと、楽しかったことや面白かったこと、悩んでいることや心配していることなど、様々な話ができたと感謝いたします。1年間ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

3月の予定

ひなまつり会	3日(月)	体育あそび	13日(木) 2歳児のみ
発育測定	17日(月)	お別れ会	21日(金)
移行保育	24日(月)～		

※避難訓練・救急訓練は日時不明の設定で行います





あけっぴんぱんぱん



子どもたちは、手をたたいたり、体を揺らしたりして自分の思いを全身で表現してきました。ゆっくりと話しかけたり、思いを代弁したりすることで少しずつ言葉が増えてきて「ちょうだい」「ありがとう」など簡単な言葉で思いを伝えようとしています。「おいでー」と友だちを呼ぶ姿も見られるようになってきました。これからも、ゆっくりと丁寧に話しかけ、会話が楽しめるようにしていきます。

入園してから1年が経ち、子どもたちはとても成長しました。ハイハイからつかまり立ち、1歩2歩と歩けるようになりました。園生活にも慣れ、自分の思いを十分に出せるようになりました。一人ひとりの安定をはかりながら、最後の1か月も安定して過ごせるようにします。



これな〜に？



いっしょだね



今月のねらい：十分に思いを出し安定して過ごす



ひんぱんぱん



食べるのが好きな子どもたちは、毎日の給食の時間を楽しみにしています。メニューを伝えると「おにく！」「やったー」と話しています。苦手な食べ物があった子どもも、今では「みて！あーん」と言い、食べられたことを嬉しそうに保育士に伝える姿も見られるようになりました。「野菜も食べられてすごいね」「美味しいね」と、食べようとする姿を認めたり、美味しさに共感したりし、楽しい雰囲気の中で食事ができるように関わっています。今後も、みんなで食事をし、会話をしながら楽しく食べられるようにしていきます。

みかんグループで過ごすのも、残り1か月となりました。一人ひとりの思いを受け止め、様子に応じて仲立ちし、友だちとの関わりを楽しめるようにしていきます。



たべられたよ！



ぱくっ



おいしい♪

今月のねらい：友だちと関わって、一緒に遊ぶことを楽しむ



ひんぱんぱん



最近子どもたちが好きな絵本は、『ノラネコぐんだん おすし屋さん』です。「えびとたこがすき」「たまごのおすしだ」と嬉しそうに話したり、絵本を見ながら食べる真似をしたりしています。「えびつくりたい」「かきかき（描く）する」という子どもの言葉を聞き、作ることにしました。作ったお寿司を使って、子どもたちは「これください」と選んだり、食べる真似をしたりし、ごっこ遊びを楽しんでいました。ままごとと一緒に食べることを表現し、ごっこ遊びが更に広がるようにします。

自分で身の回りのことをすることに慣れていけるよう、仕方を知らせたり、丁寧に援助したりしてきました。一人ひとりが自信をもち、やってみようと思えるよう、認めたり自分でできたことの嬉しさに共感したりしていきます。



おすしを作ろうね



どれにしますか？



おいしい！

今月のねらい：身の回りのことをやってみようとする

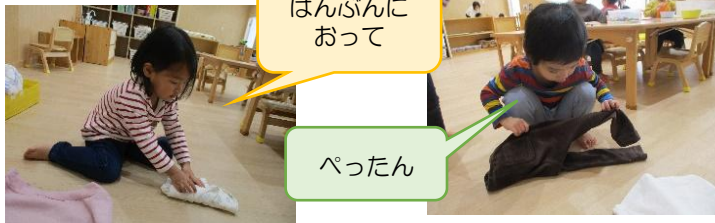


12月



着替えをする時に「一緒に畳んでみよう」と声をかけながら知らせると、「はんぶんにおって」「ぺったん」と言いながら一緒に畳んでいます。今では「服畳もうか」と声をかけ服を広げると、自分で「できた」と満足そうにしています。引き続き、子どもたちの意欲的な姿を認めながら衣服を畳むことが習慣づくようにしていきます。

今月は進級に向けて保育園の幼児グループ保育室へ遊びに行き、玩具で一緒に遊んだり年上の友だちと楽しく過ごせるように仲立ちしていきます。不安や嬉しい気持ちを受けとめたり、優しく声をかけたりすることで、安心して保育園の生活をスタートできるようにします。

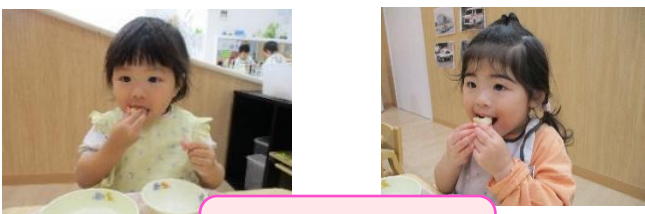


今月のねらい：保育園の生活に慣れる



《豆腐ドーナツを作ろう》

絹こし豆腐、米粉のホットケーキミックスを使ってドーナツを作りました。ボウルの中に豆腐と米粉を入れると不思議そうに見ていました。にじ組は、エプロン、マスク、三角巾を付けて、泡だて器を使って保育士と一緒に混ぜました。混ぜた物を見せると「いいにおいがする」「どんなのができるかな?」と興味をもち匂いを嗅いでいました。あさひ、ひかり組の子どもたちは、ボウルの中をのぞいたり、指差したりして嬉しそうにしていました。



フライパンの中に油を入れて、揚げ焼きににして見せると「わーどーナつだ!」と出来上がるのを楽しみにしていました。昼食後、待ちに待ったドーナツを食べると「おいしい」「あまいね」と美味しそうに食べていた子どもたち。おかわりをもらって満足気にしていました。ぜひご家庭でも子どもと一緒に作ってみてはいかがでしょうか。

中村 仁子